

Web会議の音声品質向上

遠隔商談の推進

出張費削減

DAiKO
大興電子通信株式会社

大興電子通信株式会社 様

本社:東京都新宿区揚場町2番1号 軽子坂MNビル
設立:1953年12月1日 代表者:松山 晃一郎 資本金:19億69百万円
事業所/国内19拠点 従業員数/1,190名 ※2019年3月31日現在

導入機種: YVC-200/4台 YVC-300/10台 YVC-1000/1台
導入時期: 2018年9月~2019年8月
基本構成: 会議室に設置のYVC-200・YVC-300・YVC-1000はノートPCに接続して利用。情報システム部門で貸出し管理するYVC-300・YVC-200およびセキュリティ営業部所有のYVC-200は、社内/外に持ち運び利用。

WEB会議+YVCシリーズで低コストかつ 高音質な遠隔会議を実現し、遠隔商談にも活用

活用効果のポイント

- テレビ会議システムを廃止してWeb会議に移行するにあたり、各会議室にYVCシリーズを設置し高音質な遠隔会議を実現。さらにYVCシリーズの貸出機を用意することで、会議室以外でのWeb会議も可能に。
- リモート参加のSEを交えたストレスフリーの遠隔商談も実現



■ テレビ会議からWeb会議への移行に際し、音声品質/操作性にすぐれたスピーカーフォンを導入

- テレビ会議システムからWeb会議への移行で音声品質が課題に
- Web会議にYVCシリーズを組み合わせることで、高音質なWeb会議を実現

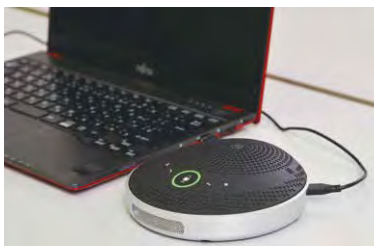
他社に先駆け遠隔会議を導入・利用してきた大興電子通信株式会社。かつては高価なテレビ会議システムを本社や支店の会議室に設置し拠点間会議などで利用していましたが、リース終了などを機に、より低コストで柔軟性にすぐれるWeb会議への移行を進めてきました。

各会議室に整備された大型ディスプレイにノートPCをつないでWeb会議を利用するなか、PC内蔵のマイクやスピーカーでは性能に限界があり会話が聞き取りづらいため、別途スピーカーフォンを導入することに。

本社情報システム部門で主要なメーカー製品を比較検討した結果、音声品質や操作性などにすぐれるヤマハ製品を選定。役員会議などが行われる本社の大会議室にはYVC-1000を、本社のその他会議室や支店/子会社の会議室にYVC-300やYVC-200を設置しました。

現在では、全社会議や全社横断のさまざまなチーム会、社外との打ち合わせなどでヤマハのスピーカーフォンが利用されています。

さらに情報システム部門では、会議室への設置とは別にYVC-300およびYVC-200複数台を本社で購入。会議室以外のスペースや社外でのWeb会議用に、情報システム部門が管理する形でスピーカーフォンの貸し出しを実施しており、なかでもYVC-200は、小型&軽量にしては音声品質が高いと好評を博しています。



■ スムーズな遠隔商談を、営業部独自に実現

- 遠隔商談による営業推進に向け、セキュリティ営業部でYVC-200を導入
- リモート参加のSEを交えたストレスフリーの遠隔商談を実現

こうしたなか、YVC-200のすぐれた機動性や音声品質に目を付けたのが同社セキュリティ営業部です。営業担当と製品担当SEが一体となって商談を進めるケースが多い同営業部ですが、製品担当SEの拠点は遠方というケースも多いため、担当営業がお客様を訪問し、製品担当SEはWeb会議で参加する遠隔商談に取り組んでいました。ところが、ノートPCに内蔵のマイク/スピーカーで行っていたため、お客様とSEの間の会話が聞き取りにくく、スムーズなコミュニケーションには程遠い状況でした。今回YVC-200を導入したことで、リモート参加のSEを交えたWeb会議の音声品質が格段に向上。ストレスフリーのコミュニケーションを実現することに成功しました。今後は、一部製品の営業チームでスタートした遠隔商談を営業部全体に拡大し、さらなる営業力強化を進める計画です。

■ スピーカーフォンの社内普及でリモートワーク・テレワーク推進を期待

- サテライトオフィスを契約しリモートワーク・テレワークで活用
- スピーカーフォンを社内幅広く普及させることで働き方改革を推進

同社は現在、サテライトオフィスを提供する数社と法人契約を結び、リモートワーク・テレワークの推進による業務環境改善に取り組んでいます。テレワークでサテライトオフィスや自宅からWeb会議に参加する社員にとって、高音質な音声によるスムーズな会話は重要です。YVC-200のようなモバイル性の優れたマイクスピーカーを多数導入し、社員が必要な時に気軽に利用できるようにすることで、サテライトオフィスや自宅の環境がより快適になり社員のテレワーク意欲を高め、全社規模で働き方改革を推進していきたいと考えています。

ご利用いただいた機器

YVC-200

希望小売価格:30,000円(税抜)
JANコード:ホワイト(W)/4957812638661、
ブラック(B)/4957812638654

YVC-300

希望小売価格:50,000円(税抜)
JANコード:4957812594554

YVC-1000

希望小売価格:120,000円(税抜)
JANコード:4957812599911

お客様の声



大興電子通信株式会社
インフラビジネス本部
セキュリティ営業部 営業課
富吉 隼人 様



大興電子通信株式会社
マーケティング本部マーケティング企画室
マーケティング企画課 マネージャー
山口 夕香里 様

みずから利用し満足&納得のヤマハ製品をお客様にも積極提案

YVC-200を手にして軽さに驚きました。持ち運んで遠隔商談に利用するという我々のニーズにもピッタリです。最初はドライバーのインストールや設定などの作業が必要なのか…と思いましたが、ノートPCにつなぐだけですぐに利用できました。早速社内で試してみたところ、ノートPCだけの時とは比べ物にならないくらい音声がクリアで、その場にいたメンバー全員が絶賛していました。当社はお客様に対し「Web会議システム」の販売もおこなっており、ヤマハ製品をお薦めするようにしています。

大興電子通信株式会社様におけるYVC-200の活用方法

- 本大会議室にYVC-1000を1台、本社および5支店の会議室にYVC-300を6台、2支店と子会社の会議室にYVC-200を3台設置しWeb会議で利用。
- セキュリティ営業部にて独自にYVC-200を2台導入し、リモート参加のSEを交えた遠隔商談の音声品質向上を実現。
- 情報システム部門が管理する形で、YVC-300×4台とYVC-200×1台を本社内で貸し出し。



YVC-200の製品情報はこちら

<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/yvc-200/>

YVC-300の製品情報はこちら

<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/yvc-300/>

YVC-1000の製品情報はこちら

<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/yvc-1000/>

●本資料に記載された製品名および企業名は、各社の登録商標または商標です。



製造元
ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1
2019年12月作成

音声コミュニケーション機器お客様ご相談センター

■ お電話によるお問い合わせ先 ☎ 03-5651-1838 ■ FAXによるお問い合わせ先 ☎ 053-460-3489

ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00 (土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

メールでのお問い合わせはこちら <https://sound-solution.yamaha.com/support/uc/>